



各位

一般社団法人 半導体産業人協会

理事長 牧本 次生  
研修委員長 加藤 俊夫

## 研修会のお知らせ

拝啓 昨年の東日本大震災においては工場の地震対策が極めて重要であることが強く認識されました。講演者達は、近年頻繁に発生していた宮城沖地震での経験を生かし独自の地震予測システムを構築してその機能が極めて有効に働くことを確かめてきています。最近の東北地方での大地震でも如何なくその効果が発揮されたようです。震源に最も近い半導体工場であったにも拘わらず生産設備や工場インフラの被害は極めて軽微なものであったと言われております。これは気象庁地震計速報に工場での地震計の計測情報を加えて解析して地震到達までの正確な時間と地震の大きさの予測が瞬時に可能となって緊急処置が取られたからでした。各種工場・研究所の責任者の聴講が特に求められます。地震の話、緊急地震予報の限界、各工場オンサイト地震予知システムとその効果など興味深い重要なお話が聞けるものと期待されます。

聴講ご希望の方は下の申込票により事務局までお申込み下さい (E-mail 申込も可。その場合お名前・会員/一般の別・連絡先を明記下さい)

敬具

### 【3月度研修会】

講演：『オンサイト地震防災システムの構築とその有効性』

講師：高松 謙一 氏  
沖エンジニアリング株式会社 取締役

会期：3月8日(木) 17:00-18:30  
講演会終了後 名刺交換会・懇親会を催します。  
会場：全林野会館 プラザ・フォレスト (東京・茗荷谷)  
(文京区大塚 3-28-7, TEL : 03-3945-6871)  
地下鉄 東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩7分

参加費：SSIS 会員 聴講料=無料、懇親会=2,000 円  
一般 聴講料=4,000 円、懇親会=2,000 円  
(参加費は当日会場にて申し受けます)  
なお、会員でない一般の方は当日入会可です。

**ご案内図**

**全林野会館 プラザ・フォレスト**  
東京都文京区大塚 3-28-7 ☎ 03-3945-6871

- 地下鉄丸の内線 茗荷谷駅徒歩7分
- 都バス「千石三丁目」徒歩1分 (早稲田・リーガロイヤルホテル-上野松坂駅) (大塚-上野公園)
- 山手線 大塚駅徒歩15分 (上野公園行バス乗車が便利です)

SSIS 事務局行 (Fax : 03-6457-3246 E-mail : info@ssis.or.jp でも承ります)

### SSIS 研修会参加申込票

3月8日の講演会 [ ]、懇親会 [ ] に出席します  
(参加するものに○をお付け下さい)

お名前：  
Tel：  
(個人会員でない方は団体名もご記入下さい)：



SSIS 3 月度研修会

# 『 オンサイト地震防災システムの 構築とその有効性 』

講師：高松 謙一 氏

沖エンジニアリング株式会社 取締役

日時：3 月 8 日(木) 17:00-18:30

会場：全林野会館 プラザ・フォレスト (東京・茗荷谷)

## < 講演内容 >

1. 地震および気象庁緊急地震速報について
2. オンサイト地震予測システムとその効果について
3. 人的被害対策および設備被害対策例
4. 東北地方太平洋沖地震と南海トラフ巨大地震について
5. BCM としての地震災害対策の必要性

## < 講演要旨 >

気象庁高度利用者向け緊急地震速報のみを利用した地震防災システム構築の限界と、予測精度向上のためのオンサイト地震計の有効性を、半導体工場での実績を踏まえ紹介する。また、東北地方太平洋沖地震の教訓、迫りくる巨大地震への備え、BCM としての地震防災システムの重要性を説明する。ハザードマップには表れない過去の巨大地震、巨大津波を知ることで、防災システム構築の重要性が把握できる。S 波(主要動)到着するまでの時間を、オンサイトでも P 波(初期波)を検知計測して波形解析を行い、工場立地での地震規模と S 波(主要動)到着までの時間を正確に予測することができ最適な防災システムの構築が可能となる。また、S 波到着までの猶予時間が如何に有用であるかを知ること、被災時の被害最小化を図ることが可能となり、さらに、被災後の早期復旧を可能にすることが出来る。

## < 講師紹介 >

高松 謙一 氏

沖エンジニアリング株式会社 取締役

1978 年 3 月 横浜国立大学 工学部 応用化学科卒業

同年 4 月 沖エンジニアリング株式会社 入社

工場排水、排ガス測定、作業環境測定など環境保全分析や製品品質を確保するための材料中の不純物分析を担当。

分析技術を環境装置評価に適用し、半導体・液晶・太陽パネル製造工場向けに CVD や Epi 向け特殊排ガス処理装置を設計開発し、日本・台湾・韓国などに広く納入している。

また、高濃度高温 HF 排ガス処理装置の開発や排水リサイクルシステム構築など、排水処理・純水製造装置等も手掛けている。

2000 年 4 月 環境システム部長

2007 年 4 月 執行役員環境事業部長

2009 年 4 月 取締役環境事業部長

本講演会の情報および協会の活動の最新情報は、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.ssis.or.jp>